みくまの産地提案書

☆新宮市・那智勝浦町でイチゴで栽培農家を募集しています！☆

募集人数：２名程度（ＵＩターン就農）

就農までの流れ　パターン

就農相談
募集期間
令和４年
６～７月

実践研修（みくまの農協トレーニングファームと産地協議会での実践研修）・就農支援センターと産地協議会で座学受講
令和５年９月~令和６年８月
就農準備

独立自営
就農！！
令和５年９月

私たちがサポートします♪

研修～就農後まで１人１人に応じた支援を提案します

イチゴの栽培ポイントを実践研修で指導します。

ＵＩターン就農相談フェアへのみくまの産地地域協議会出展

イチゴ花芽検鏡指導（イチゴ栽培実践研修）

くろしお苺生産販売組合農家での実践研修

求める人材

★健康で農業に対して熱い思いがある方。
★地区に溶け込み、交流ができる方。
★年齢が４９歳以下での就農が望ましい。
★新宮市・那智勝浦町に居住される方。
★就農に対して家族の理解や協力が得られる方。
★くろしお苺生産販売組合に加入される方。
★就農後６年間は農業経営できる方（注：経営開始資金の交付金を受ける事を前提）。
※研修受け入れは面談等により決定します。（募集人数：２名程度）

みくまの産地協議会での産地面談会

先輩就農者の就農物語

みくまの産地協議会
ＪＡトレーニングファームでの基礎研修
→ みくまの産地協議会
くろしお苺生産販売組合農家での実践研修
→ 就農地を決定
→ 就農

那智勝浦町への移住は親が出身地への帰省を希望したことです。
　栽培品目にイチゴを選択したのは、当町での生産イチゴは「くろしお苺」として親しまれ、地元市場からも高く評価されていることです。
　そこで、イチゴを中心にみくまの産地協議会での就農研修を受講しました。
　当協議会での就農研修ではJAトレニーングファームで農業での基本技術と知識を、生産農家では、イチゴ栽培の実践技術修得、農地の確保とハウス建設等の支援より研修修了直後、イチゴで就農できました。
　研修期間において、農業の知識と技術の修得はもとより、地域農家とのつながりは農地の確保と伴に、研修修了時の相談相手になります。
　新規就農の心構えとしては「毎年、日々技術の上達に対する達成感、新たな問題点の発見」や「地域との交流を深め、地域で頼れる人になること。」が大事。

IターンのW氏

様々な支援

●資金確保支援
1.新規就農者育成総合対策事業
(就農準備資金：２年以内、経営開始資金：３年以内)
内容：就農前後の所得安定のため、
　　１５０万円以下／年を交付
2.産地受入研修支援資金（県単）
内容：就農研修中の所得安定のため、
　30万円以下/年を交付
3. 施設設備補助制度
内容:施設整備に係る対象経費に対する補助
1/3以内の補助（1／3以内）
●住居確保
空家等移住相談

新宮市・那智勝浦町の紹介

　当地域は冬でも雪が降らず、温暖な気候で、海と山の距離が近く自然豊かな環境の中で水田農業を中心とした田園地帯です。古くからイチゴの栽培が盛んで近年では、地域の部会を中心に生産販売組合が結成され、新規就農者も増加しています。
　当地域には、学校、保育所、病院、スーパーなどがあり、子育て世代にも住みよい地域です。

イチゴ農家の経営モデル

※所得を保証するものではありません。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		収穫					育苗	定植			収穫

経営面積	売上高	支出合計	所得
２０ａ	1,120万円	730万円	390万円

（経営モデル）

★１０ａ当たり収量
　4.3トン
★１０ａ当たり労働時間1,995時間
★年間総労働時間
　2,000時間
★家族労働２人

問　い　合　わ　せ

みくまの農業協同組合営農経済センター
東牟婁郡那智勝浦町南大居２−２４９
電話　０７３５−５７−０３０１

東牟婁振興局農業水産振興課
新宮市緑ヶ丘2丁目4-8
電話　０７３５－２１－９６２３